



## デジタル政策の 最前線から皆さんへ

デジタル庁統括官付  
参事官付参事官補佐

**松本 惇** MATSUMOTO Jun

平成 22年 4月 総務省採用  
同 人事・恩給局総務課  
平成 23年 7月 同 大臣官房総務課  
平成 24年 8月 同 総合通信基盤局電波部電波政策課政策係長  
平成 25年 3月 併任 総合通信基盤局電気通信事業部消費者行政課  
平成 26年 8月 内閣府公益認定等委員会事務局総括係長  
平成 28年 8月 総務省行政管理局企画調整課課長補佐  
平成 30年 8月 内閣官房内閣人事局参事官補佐  
令和 3年 9月 現職

### デジタル庁という新天地にて

「誰一人取り残されないデジタル社会の実現」。2021年9月、新型コロナウイルスにより浮彫となった日本社会のデジタル化の遅れを取り戻し、世界水準のデジタル社会の実現に向けた司令塔としてデジタル庁が発足しました。デジタル庁では、マイナンバーカードと健康保険証との一体化、アナログ規制約1万条項の一扫など、行政人材と民間人材がこれまでにない規模で協同し、大胆な発想で政策が進められています。

私は、2021年7月から、デジタル庁の立ち上げに向けた準備を行うとともに、発足後はデジタル庁内外の窓口として政策の取りまとめ・調整や、TeamsやSlackといった新しいツールの霞が関での活用に向けた検討、地方自治体へのキャッシュレス納付のための基盤作り等様々な業務を担い、日々試行錯誤をしています。デジタル庁という国の組織の立ち上げというエポックメイキングな場面に立ち会い、霞ヶ関では例のないオープン・フラットな組織運営に身を置きつつ、デジタル政策の最前線に携わるといふ、貴重な経験を積んでいます。

### 分野を超え、日本のあらゆる課題に向き合う

私は、国家公務員の醍醐味とは、自分の専門分野を持ちつつ、幅広い分野で日本の様々な課題に向き合い、その解決に貢献できることと考えています。

自らを振り返ると、当時激しい官僚バッシングの中で、国家行政の基盤となる国家公務員が、やりがいを持ち能力を発揮できる組織作りには貢献したいと思い総務省に入省しました。血の通った公務員制度を作るためには、各府省の現場や政策を知る必要がありますが、総務省ではその機会が十分に確保されています。私自身、多様な出向先での業務に取り組むことで、その経験を専門分野へ生かすことはもちろん、様々な分野に取り組んだこと自体が、国家公務員としてのやりがいと自信となっています。

本稿が、総務省のミッションに関心を持ちつつ、加えて幅広い分野で日本の力になりたいと考えている皆さんへの後押しとなれば幸いです。



デジタル庁のオフィスで同僚と議論する筆者



フォーラムで働き方改革の講演を行う筆者

### 想像を超えた経験

総務省入省後、半分以上の時間を「内閣官房」で過ごしています。内閣官房は、内閣と総理を直接支える組織で、各省庁からの出向者で構成され、内閣の重要政策の企画立案・総合調整を担います。内閣の方向性を各省庁に伝達し実現することが、内閣官房のミッションです。ここでの経験は、想像を超えた驚きと発見の連続です。副長官補室では、内政の重要政策に関する官邸での閣僚会議の運営や調整を行い、刻一刻と変化する情勢や、政策が目の前で生まれるダイナミズムを肌で感じました。現在は、内閣人事局で、行政組織の要である国家公務員のやりがいやモチベーションを上げ、組織全体の成果向上につなげるための人材育成策の企画立案を担当しています。

### 内閣官房で得たスキル

内閣官房の業務は様々ですが、内閣官房職員に共通して求められる能力は「様々な省庁から職員が集う職場で、迅速に的確な政策を生み出す能力」です。分解すると、アンテナを常に高く持ち(情報

収集力)、様々な可能性を探り(先読み力)、各省庁の職員とともに政策を検討し各省庁へ伝播する(調整力)。機動性は常に高く(瞬発力)、上司や同僚の良い点は真似て吸収する(模倣力)。これら5つの力が、私が内閣官房で得た代表的なスキルであり、役人としての基盤にもなっています。

「様々な省庁」とは文字どおりで、ほぼ全ての省庁の職員と業務を行いました。省庁が違えば、考え方も仕事の仕方も様々。これほど多くの省庁の職員と協働できるのは、内閣官房ならではの大きな魅力。ここでの多くの出会いが、私という人間の幅を広げてくれました。内閣官房への出向という貴重な機会を与えてくれた総務省に、心から感謝しています。

### Home Sweet Home

このように、総務省職員の活躍の場は省内に限られません。内閣官房はまぎれもなく私のアナザースカイですが、総務省は私にとってのふるさと、実家のような安心感があります。迷ったときは、出向前に総務省で出会った上司・同僚・同期の姿を思い出し、あの人がいたらどう考える?と自問自答しながら前に進んでいます。内閣官房に出向中の総務省職員にも多々助けていただいています。内閣官

房から見た景色は、総務省職員として、そして国家公務員としての私の心に深く刻まれています。



配偶者同行休業で夫とともにアメリカへ



休日はキャンプやハイキングでリフレッシュ

## 内閣官房から見た景色

内閣官房内閣人事局参事官補佐  
(人材育成、マネジメント向上担当)

**吉澤 恵梨華** YOSHIZAWA Erika

平成 27年 4月 総務省採用  
同 政策統括官付統計企画管理官付  
平成 28年 4月 同 政策統括官付国際統計管理官付  
平成 29年 7月 内閣官房副長官補付  
令和 元年 7月 配偶者同行休業  
令和 2年 7月 内閣官房内閣人事局総括係長  
令和 3年 7月 現職

